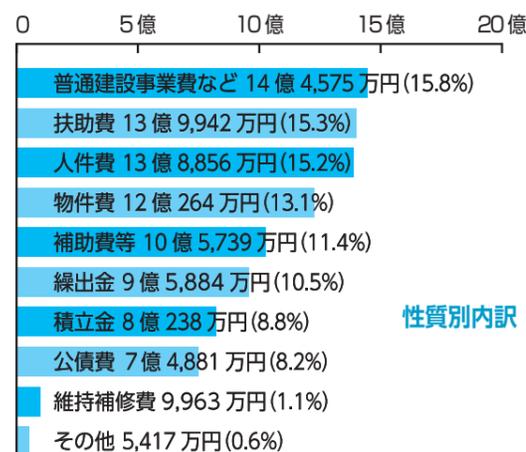




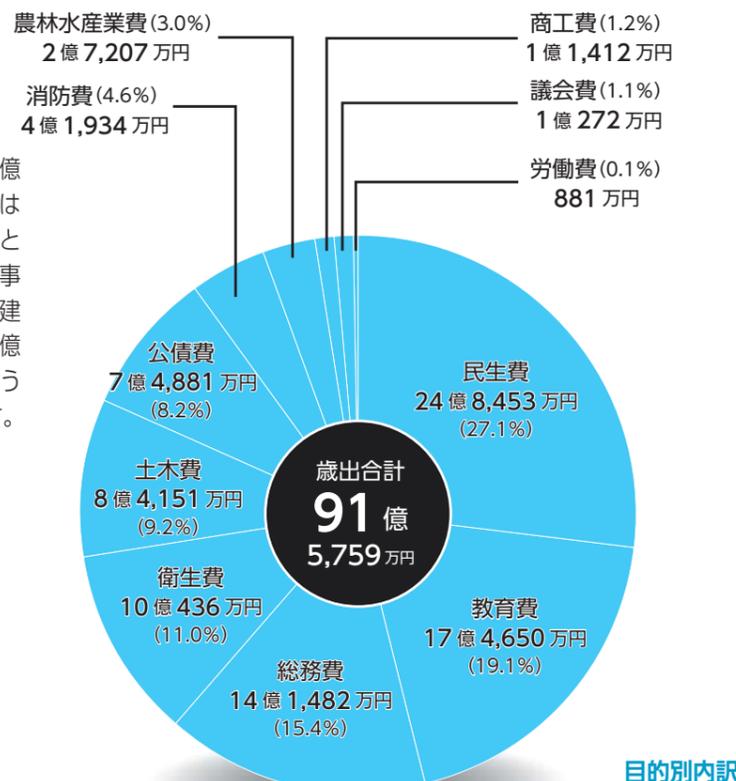
歳出 公債費が増加傾向

■民生費、土木費が減少

歳出は、予算額94億7,364万円に対し、決算額は91億5,759万円、執行率は96.7%でした。前年度の執行率は96.0%であり、0.7%増加しました。歳出総額は、前年度と比較して3億2,522万円減少。主な要因は、北保育園改築事業やスポーツ・レクリエーション広場改修等事業などの建設事業が完了したこと。目的別で見ると、土木費が2億7,080万円、民生費が1億3,562万円減少。道路整備やおうら中央多目的広場の整備が完了したことによるものです。



性質別内訳



目的別内訳

■特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	38億8,008万円	37億2,605万円	1億5,403万円
後期高齢者医療	2億4,364万円	2億3,924万円	440万円
介護保険	18億9,664万円	18億1,321万円	8,343万円
下水道事業	2億6,282万円	2億5,117万円	1,165万円
学校給食事業	2億4,032万円	2億3,537万円	495万円

■各特別会計の決算状況は？

まちの会計には一般会計の他に特別会計があります。一般会計は基本・全体的な経費を管理する会計、その他会計は特定の事業のためにそれぞれ独立して歳入・歳出を管理する会計です。今回の決算では、各特別会計ともに健全な運営がされていることが確認できました。

- 【性質別内訳】
- 普通建設事業費 建物の建設や道路公園などを整備するために使われるお金
 - 扶助費 福祉や医療の費用として給付されるお金
 - 人件費 職員の給料や議員の報酬として使われるお金
 - 物件費 備品の購入や事業の委託費などに使われるお金
 - 補助費等 各種の補助金や負担金として使われるお金
 - 繰出金 一般会計から特別会計に繰り出されるお金
 - 積立金 財政運営を計画的にするため、基金に積むお金
 - 公債費 町債借金の返済に充てられるお金
 - 維持補修費 町が管理する公共施設の維持保全に使われるお金

- 【目的別内訳】
- 衛生費 ごみ処理や健康・保健指導などに使われるお金
 - 土木費 橋や道路、公園や排水路などの整備に使われるお金
 - 総務費 選挙や税金の徴収、広報紙の発行など、行政運営に使われるお金
 - 公債費 町債借金の返済に充てられるお金
 - 消防費 消防施設の整備費や、消防組合の負担金
 - 農林水産業費 農家の支援や水路の整備など農業振興に使われるお金
 - 商工費 町内の商工業者などの支援に使われるお金
 - 議会費 町議会の運営などに使われるお金
 - 労働費 雇用対策など、勤労者の支援に使われるお金

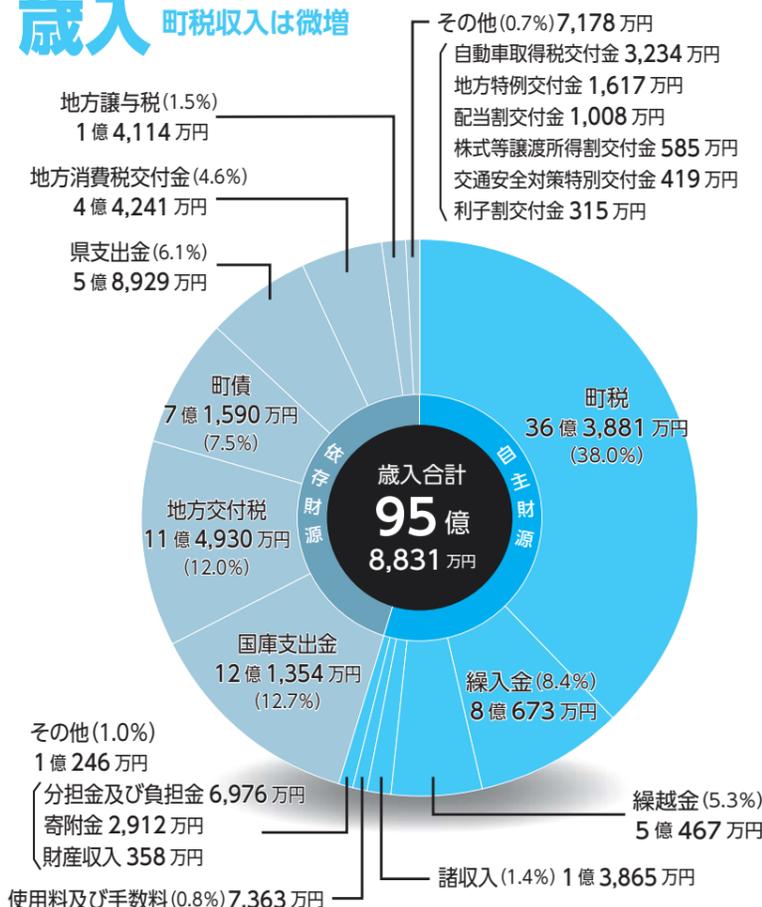
- 【指標】
- 実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合
 - 連結実質赤字比率 財政規模に対して町の持つ全会計が出した赤字額の割合
 - 実質公債費比率 財政規模に対しての町債借金の返済額の割合
 - 将来負担比率 町が将来負担しなければならない負債額の割合
 - 資金不足比率 公営企業会計(下水道事業)の営業収益における資金の不足額の割合

- 【歳入】
- 町税 町民税(個人法人、固定資産税)自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金
 - 繰入金 町の基金(積立金)から繰り入れるお金。預金を下すようなもの
 - 国県支出金 町が行う事業に対し、国や県が交付する補助金など。使い道はあらかじめ決められている
 - 町債 町の借金。一時的に大きな支出が必要な時や、将来の町民も経費を負担することがある場合、決められた手続を経て借入のお金
 - 地方交付税 地方自治体の財政力に応じて国から配分されるお金。自治体間の財政格差を縮め、全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるようにすることが目的
 - 地方消費税交付金 消費税のうち、地方自治体に交付されるお金
 - 地方譲与税 国が国税として集めたお金を、地方自治体に配分するもの

平成28年度 まちの決算

平成29年9月議会で認定された平成28年度のまちの決算をお知らせします。一般会計の歳入総額は95億8,831万円、歳出総額は91億5,759万円それぞれ前年度比は、歳入6.9%の減、歳出6.3%の減という結果でした。各会計の主な決算額は、次のとおりです。 問合せ▶役場総務課 47-5004

歳入 町税収入は微増



■町債は減少

歳入は、前年度決算額と比較して、4億124万円の減少。主な要因は国庫支出金、繰入金、繰越金などが増加した一方、町債、県支出金、財産収入などが減少したためです。町債については、社会教育施設(中央公民館)に係る費用が増加した一方、学校教育施設(中野小学校プール)や施設整備(北保育園やスポーツ・レクリエーション広場)が終了したことにより4億7,460万円減少しています。県支出金は群馬県林業・木材産業再生緊急対策事業補助金(北保育園)1億3,742万円、公共管理者負担金(区画整理事務所)4,856万円減少したことなどによりです。

自主財源(54.9%) 52億6,495万円
自主財源とは……まちが自ら確保することができるお金

依存財源(45.1%) 43億2,336万円
依存財源とは……国や県などから割り当てられたり交付されたりするお金

■まちの財政は健全運営？

まちが健全な財政運営かどうか、国が定めた5つの指標で確認できます。どの項目も算定されない、もしくは低い数値という結果で、まちの財政運営は健全であることが確認できました。

■資金不足比率

会計名	邑楽町	経営健全化基準	備考
下水道事業特別会計	-	20.0%	

※赤字が生じない、または算定されない場合は「-」で表示しています。

■健全化判断比率

指標名	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.67%	20.00%
連結実質赤字比率	-	19.67%	30.00%
実質公債費比率	5.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-	350.0%	